平成２６年度事業報告書

自　平成２６年４月　１日
至　平成２７年３月３１日

１　事業の状況

（１）煎茶道に関する調査研究　（５８４千円）

ア　本部研究事業

(ｱ)　有声文庫研究会において研究調査を行う。　（３千円）

煎茶道関係資料の収集。

日　時　毎月　最終土曜日

内　容　家元及び有識者を招いて有聲文庫研究会において、煎茶道関連図書の研究として『清湾茶話』及び『清風瑣言』の読解及び現代語訳などを実施。また、煎茶関連図書を購入。

(ｲ)　「第６回煎茶文化フォーラム」　（５８１千円）

日　時　平成２６年１１月１日（土）

会　場　黄檗山萬福寺　真空の間

参加人数　５０名

内　容　有聲文庫研究会に参加の有識者による講演会を実施。

ノーマン・ワデル氏　「手紙から見た売茶翁と津田治部之進」

舩阪富美子氏「近世後期文人と煎茶

－田能村竹田・頼山陽・小石元瑞―」

の２講を講演。

（２）煎茶道習得に必要な研修会・講演会等　（５，４６８千円）

ア　本部研修会に関する講演会

(ｱ)「第４９回夏季大学　高山」

日　時　平成２６年８月２４日（日）

会　場　高山市民文化会館

参加人数　２８７名

内　容　全国各県を持ち回りで教授者養成のため開催する研修会。本年は岐阜県で研修会を実施。前日には歓迎茶会として全国からの受講者を招き茶会を開筵。第１講　大下大圓　和尚『　和の心の再考について”日本文化的スピリチュアルケア”　』　坂本信幸　氏『　万葉集の魅力と茶　』の２講を講演。

（３）茶会・展示会の開催　（２４，９４５千円）

ア　本部主催の茶会及び展示会

(ｱ)「第５９回全国煎茶道大会」　（１７，７９０千円）

日　時　平成２６年５月１７日（土）・１８日（日）

会　場　宇治　黄檗山　萬福寺

参加人数　２４００名

内　容　煎茶道の全国大会として２日間に渡り実施。煎茶道の茶会としては最大規模の茶会で２日間で２５流派が茶席を開筵。煎茶道の祖売茶翁への献茶式を両日実施。また、海外交流として台湾より不流茶叙奇古堂、中華茶芸連合促進会を招聘し茶席を開筵。

(ｲ)「第２５回東京大煎茶会」　（６，７１４千円）
日　時　平成２６年１１月２８日（金）～３０日（日）
会　場　東京美術倶楽部
参加人数　１，３００名
内　容　連盟主催の秋の茶会として３日間で１５流派が茶席を開筵。

イ　本部主催及び共催の展示会
(ｱ)「国民文化祭あきた２０１４」　（４４０千円）
内　容　「国民文化祭あきた２０１４　生活文化総合フェスティバル」開催に向け主催県の説明会に参加。生活文化総合フェスティバルの開催が見送りのため実施されず。

（４）煎茶道教授者の養成　（１，８８４千円）
ア　煎茶道教授者育成費の補助を実施。
内　容　各流派へ教授者育成費用として補助を実施。

（５）煎茶道文化の海外への紹介について　（１３，７９５千円）
ア　第５９回全国煎茶道大会における海外団体への参加誘致。　（０千円）
イ　日本・ベトナム茶文化交流団　（１３，７９５千円）
日　時　平成２６年１１月１４日（金）～１８日（火）
会　場　ハノイ市　デウーホテル　他
参加人数　日本側交流団　７８名　ベトナム側参加者　約２００名
内　容　茶文化交流団を組織しベトナムを訪問、ベトナム茶交流協会との交流茶会を実施し４流派による茶席を設ける。その他、参加家元らによりスポーツ文化省を表敬訪問。

（６）煎茶道に関する出版物の刊行　（１３，２０１千円）
煎茶道に関する出版物の刊行については、２６年度は以下のような会誌、図書を出版。
ア　会誌の発行
会誌　「煎茶道」の発行　（１１，５１３千円）
月刊　Ｂ５判　約４０ページ
部　数　毎　月　３，０００部
内　容　煎茶道の唯一の雑誌として月刊発行。Ｂ５判毎号約４０ページ
連盟実施事業の報告、煎茶道関連行事の紹介、煎茶道教養に関する連載などを掲載。一般の方も購読可能。

イ　煎茶道手帳２０１５　（１，６８８千円）
１年１回の発行　約１５０ページ
部数　３,８００部
内　容　煎茶道に関する項目、連盟主催行事、煎茶道関連行事を記載した手帳を発行。関係各所に配布。

（７）煎茶工芸作家の育成と作品展の開催　（１，９３２千円）
ア「第２８回日本煎茶工芸展」
日　時　平成２６年５月１７日(土)・１８日(日)
会　場　黄檗山　萬福寺　真空の間
内　容　煎茶工芸の展示会として、工芸大学等への案内状の送付、加盟流派

からの紹介、ホームページなどで全国から煎茶道具を公募。煎茶道流派の家元、学識者、工芸作家による審査を行い、約１００点の出品作品の中から７０点が入選。最高賞文部科学大臣賞をはじめとして８作品が入賞。入選作品は全国煎茶道大会と同日同会場にて実施される日本煎茶工芸展にて展示。

（８）その他この法人の目的を達成するために必要な事業　（１，４４１千円）

ア　式典費　（９２１千円）

(ｱ)「売茶忌」　（８３４千円）

売茶翁の顕彰活動として法要と茶会を実施。

日　時　毎月１６日（１月・５月・８月・１１月を除く）

内　容　煎茶道の祖 売茶翁の月命日法要にあわせて開催する茶会または、それに付随する式典に関する行事として実施。本年は８回実施し各流家元をはじめとする煎茶関係者を招いて開催。

(ｲ)「売茶翁顕彰碑献茶式」　（８７千円）

日　時　平成２６年４月１１日

会　場　鴨川　半木の道

内　容　煎茶道の祖 売茶翁の顕彰碑の維持と顕彰活動の一環として献茶式展の開催。鴨川茶店において茶席を同時開催。

イ「有声軒維持事業」　（５１９千円）

煎茶趣味茶席有声軒の維持管理。

内　容　煎茶道茶室有声軒の修繕。

以　上